

さらなる学校と地域の連携・協働に向けて  
睦沢町のコミュニティ・スクール

第5号

2023.11

# ともに学ぼう

## 報告

- ・睦沢町学校運営協議会会議 ～熱議から見えてくるもの～
- ・睦沢町地域学校協働本部 ～様々な場面で活躍するボランティアの活動～

発行：睦沢町学校運営協議会  
睦沢町地域教育協議会

2つの協議会は密接に連携し、学校と  
地域が活性するよう取組を行っています。



ともに学ぼう 第5号 令和5年11月発行

発行 睦沢町学校運営協議会 〒299-4413 千葉県長生郡睦沢町上之郷 1654 番地 1 (睦沢町立中央公民館内)

睦沢町地域教育協議会 睦沢町教育委員会教育課 TEL.0475-44-0211 FAX.0475-44-0213

### 睦沢町学校運営協議会

学校運営協議会は、保護者及び地域の住民等が学校運営に積極的に参画することにより、地域住民等の意向を学校と地域住民等が連携協力し、学校を核としたコミュニティづくりを進めるため、学校の運営及び学校運営への必要な支援に関する協議をする機関のことを言います。この取り組みが始まって5年が経過しました。この間、学校運営方針の承認は勿論のこと、家庭教育の充実、部活動の地域移行、児童生徒のあいさつ、夢を持たせる教育、スマホ利用、ボランティア交流会、ワークショップ等を協議してきました。学校運営協議会は、学校のパートナーでもありブレインでもあります。

1月30日(月)に行った第3回の協議会では、熟

議(熟慮と議論を重ねながら、共通認識・課題解決をしていく事)のテーマを「**家庭教育の充実を図るためにはどうしたらよいか**」「**部活動の地域移行をどう進めるか**」としました。話し合いを**ブレインストーミング**(自由に意見を出し合う事で、新たな発想を生み出したり、アイデアを昇華させたりする手法)で行ったことで、様々な考えに触れることができました。各テーマに関して次のような提言がありました。

#### 「家庭教育充実を図るために」

##### — 大人が手本を示す —

- 日常的なあいさつの習慣化  
＜大人から子へ、大人同士＞---明るく元気よく、登下校中、買い物中、校内、生活道路等
- 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)

##### — コミュニケーションの充実 —

- 子どもと一緒にいる時間、話し合う時間を増やす
  - ・約束を決める(読書、テレビ、スマホ、動画視聴の時間)、家庭での手伝い
  - ・家族そろっての食事
  - ・目標を持たせる、褒める
  - ・家庭で学習の時間を作る、家庭学習が宿題にならないように、
  - ・家庭学習の進め方を生徒保護者と共有する
- 子どもと子ども、子どもと教員との関係を深める
- 保護者と教員が話し合う機会や時間を多く持つようにする

##### — 地域とつながる —

- 地元の相談員等の力を借りる
- 地域の人とのコミュニケーション
  - ・あいさつ、地域の行事・イベント・教室に参加する・させる
  - ・地域で子どもを育てるという考え方で、日常的に関わりを持つ
  - ・学校での生徒の様子を積極的に発信、情報提供を行う(HP、学校だより、広報誌)
  - ・あいさつ通り設定、環境浄化運動、交通安全活動・子どもの見守り、地域の方が子どもと関われる機会の設定

##### — 子どもの活動 —

- 児童会・生徒会あいさつ運動
- 委員会活動の充実
- 道徳指導を増やす

##### — 関係機関等との連携 —

- 家庭教育相談所の活用
- カウンセラーの活用
- 家庭教育図書の充実
- 講演会、ミニ集会への参加(子育ての知識を学ぶ、情報を得る)

#### 「部活動の地域移行」

##### — 移行への理解 —

- 国・県の方針
  - ・教職員の地域移行への理解
  - ・保護者の理解、協力、説明会(活動費の負担、生徒の移手段、送迎)

##### — 指導体制づくり —

- 予算化
  - ・地域移行準備費、運営資金、指導者への手当等
  - ・参加費、保険の設定
- 活動場所の確保
  - ・公共施設、学校開放、使いやすい施設づくり
  - ・用具等の管理場所
  - ・活動時間の確保
- 人材確保
  - ・地域人材の活用、専門性のある方の募集発掘、経験者に名乗り出してもらい、指導者バンクの整備
  - ・実施種目の精選
  - ・指導者資格の取得、研修
  - ・学校と地域指導者との連携、連絡役の設定
  - ・教員の地域参画規準、兼業かボランティアか
- 自治体としての方針
  - ・部活動の意義、子どもの自主性、親子で運動機会
  - ・チーム、部活、地域スポーツクラブの柔軟な参加
  - ・部活動以外の種目の受け入れ
- 他の市町村との連携
  - ・情報収集

##### — 各種大会について —

- 主催団体への働きかけ
  - ・実施方式の再考



- ・学校単位での参加としない、運営に係る負担を受け持つ

第4回の協議会は、都合により紙面開催となり、次のようなご意見が寄せられました。

- 体験型の学習が多く取り入れられていてよい。
- 子どもたちの自主性を大切に、結果まで自力で導き出させている。さらに自己評価させている点が素晴らしい。
- 「部活動の活動が少ないので外部指導者との協力を」との意見があるが、受益者（保護者）負担が発生することを理解してもらわなければならないだろう。また、今後部活動の時間の確保が難しくなることが予想されるので、小学生から様々なスポーツを経験していけるようにいけるとよい。
- 本をよく読んでいるの項目で、保護者と子どもの回答の差が大きい。意思の疎通が必要であろう。
- 家庭学習や基本的な生活習慣の習得は、各家庭でやってみせ、やらせてみせ、褒めてあげることが大切だろう。

部活動へのご意見は、部活動地域移行説明会や地域クラブ活動推進協議会へと引き継がれています。



本年度は、4月28日（金）に第1回陸沢町学校運営協議会会議を開催しました。概要は次のとおりです。

○委員の委嘱

地域の住民の代表、保護者の代表、関係機関の職員、対象学校職員等の18名が委員に委嘱されました。

○会長、副会長の選出

会長を久保田洋之さん、副会長を村杉謙一さんをお願いしました。

○活動計画

- |         |     |                             |
|---------|-----|-----------------------------|
| 令和5年10月 | 第2回 | 学校評価前期分の報告<br>後期の取り組み       |
| 令和6年    | 1月  | 第3回 学校運営に関する熟議              |
|         | 3月  | 第4回 学校評価後期分の報告<br>学校関係評価の実施 |

○小中学校学校運営方針

学校教育目標に陸沢小学校は、「人間力・社会力を身に付けた 輝きいっぱい 陸沢の子」、陸沢中学校は、「自ら一步を あゆみだす15歳」を設定しました。目標達成のためにめざす学校像やめざす児童像・生徒像、めざす教師像、本年度の重点項目などの提示があり協議を経ていずれも承認されました。協議の中では、次のような質問や意見が出されました。

- ・宿題もタブレットをつかってということなので、親

が入っていけない。PCにも疎いのでちゃんとやっているかなという不安もある。

- ・他の児童がここまでやって自分がここまでと見られるとよい。
- ・子どもが chromebook でやっているのは見てはいるが、それに対するフィードバックがどのように与えられているのか。フィードバックするためのリテラシーの時間やその時間を確保するとか、教員同士でその内容をチェックするとかということもいつも使うようになると必要となってくるだろう。
- ・達成度が家からは分からないので、うちの子はここが得意だよ苦手だよと分かれば後押しが可能と思う。
- ・chromebook もゲーム感覚で楽しくやっていますが自分が楽しくなくなるとやめることがあるので、少しやりなよと親が背中を押してあげることが必要だろう。
- ・自ら一步を あゆみだす15歳というテーマがあるにもかかわらず、大人が子ども達の荷物を渡していたりする姿を見て、はたしてそれが「自ら一步を～」になっているのかなという事を感じる。
- ・大人の心の再教育みたいなこともやはり知識・技能だけではなく大事なのかなと思う。
- ・学校でできること、家庭でできること、保護者ができることで住み分けをしていながら、暗中模索しながら一步一步歩み寄っていけるような形をとれば最高かなと思います。
- ・失敗を恐れず挑戦できるという項目で数値が低かったと思うが、改善はされたのか。
- ・どのような形で教員の指導力向上を図ろうと考えているのか。
- ・日本中の問題と思うが、小中高大全ての教員が負担増で喘いでいるという背景がある中で、教育者側のイベント参加は、負担がかなり増える方策ではないか。特にイベントは休みの日に開催されるが、それに対して負担を軽減するような方法は何か考えているか。



「地域とともにある学校づくり」のため、これからも学校と学校運営協議会、地域学校協働本部が連携を図りながら活動していきます。また、委員だけではなく本日より「ともに学ぼう」をご覧になられている全ての皆さまのご協力が欠かせません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 睦沢町地域学校協働本部

### ～ボランティアは 様々な場面で～

#### 学校支援ボランティアの活動

学校支援ボランティアは、現在 104 名が登録し、各種支援活動を行っています。今後もボランティア活用を多くし、より細かな学習支援を学校等と連携を深めて行えるように進めています。また、将来のボランティア養成や職場体験等の場としての中学生ボランティアの活動も行っています。

#### 環境隊

小、中学校のグラント等の環境整備の支援をする環境隊は、睦沢小学校・睦沢中学校のグラウンドの草刈りや、ボランティア団体「あうん」の皆さんの桜の枝の伐採などを、草木の育ち具合や、行事の様子を見て実施しました。



#### まなび隊

小、中学校やこども園の学習の支援をするまなび隊は、小学校の「野菜作り」「サツマイモ植え」などを支援、また、こども園の「花壇の手入れや花植え」を行いました。

ボランティアと子どもたちとのふれ合いや会話で楽しい時間を過ごせたとの感想も聞けました。



野菜を植えよう

また、今回、小学 1 年生の生活支援や保護者の参加も交えての学習支援活動を実施しました。また、居場所づくりの場を作り、学びの支援としての活動も実施しました。

#### 安全隊

安全隊は、学校のある毎日の登下校の交通安全（生涯学習ボランティア含む）や、スクールバスの乗車確認など、地域で子どもたちを見守る、大切なボランティアや支援です。

登下校の安全確認は、学校や PTA でも実施されますが、交差点や学校の入口に立って見守ってくれる皆さんにも感謝の声があります。

ボランティアの方も「子どもたちが学校へ無事に着いて、そして、元気に帰ってくる様子を見ると幸せになります」と話してくれました。今後は、学校の行事でも活動の場があれば協力するということでした。



安全な登下校を支えます

#### 行事隊

学校の様々な行事支援をする行事隊ですが、今回は睦沢小学校 5 年生の稲作体験学習が田植え、稲刈りが両方できた事、睦沢の農業についての学習会も行いました。

稲作体験学習は、4 月 25 日に、睦沢小ライスフィールド（下之郷の実習田）で、田植の体験学習を行いました。少し天候に不安がりましたが、山田会の皆さんや地域コーディネーター、PTA のボランティア

の皆さんの協力で植えました。少し曲がったり、間が空いたり、田植の難しさも感じました。



その後、「稲の生長の観察会」やこれからの作業を学びました。米作りをする「山田会」の皆さんが授業に参加し、町の農業の様子や睦沢米の良さを学びました。



稲の観察

稲刈りは、9 月 4 日に行われました。

少し天候不順の為、時間を早めて、山田会の皆さんの指導を受けて、稲を刈り、束ねて収穫しました。また、コンバインの刈り取りもあり、稲刈りのコンバインなどの農業機械の大切さも体験できました。

収穫したお米は、学校の他、交流する新宿区花園小学校にも送りました。今後、収穫祭で学習のまとめにします。



最後に、地域学校協働本部の活動は、協働活動推進員（学校支援コーディネーター）を中心に、学校支援ボランティアの皆さんと学校・家庭・地域をつなぎながら活動しています。

これからも、学習支援をはじめとする様々な分野で地域の人材の活用を進め、コミュニティスクールの推進に寄与し続けたいと考えます。



世代の違い乗り越えてともに学びましょう！

#### 活動報告書を刊行しました。

令和 4 年 3 月に「地域とともに歩む学校づくり推進事業報告書」を刊行しました。この冊子は、睦沢小 6 年生が、人口減少や高齢者が多くなることから、若い人の移住が必要と考え、睦沢町に移住し、働いている人にインタビューし、睦沢の魅力を知りました。題して「睦沢の魅力 PR 大作戦」。地域の課題をみんなで考える機会となりました。冊子は中央公民館の図書室でも閲覧できます。

